

第5回 輝く女性研究者賞(ジュン アシダ賞) 応募要項

2023年4月3日

国立研究開発法人科学技術振興機構

ダイバーシティ推進室

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)は、世界トップレベルの研究開発を行うネットワーク型研究所として未来共創イノベーションを先導することをそのミッションとしています。その目的を達成するための経営戦略のひとつとしてダイバーシティを推進し、その一環として女性研究者の活躍を推進しています。

そこで JST は 2019 年度に、女性研究者の活躍推進の一環として、持続的な社会と未来に貢献する優れた研究等を行っている女性研究者およびその活躍を推進している機関を表彰する制度として「輝く女性研究者賞(ジュン アシダ賞)」および「輝く女性研究者活躍推進賞(ジュン アシダ賞)」を創設しました。昨年度までの4回においては、多数の応募の中から外部有識者による選考を経て、素晴らしい受賞者および受賞機関を表彰することができました。このたび、今年度も第 5 回となる本賞の公募を開始いたします。

輝く女性研究者賞(ジュン アシダ賞)では、大学や公的研究機関の研究者をはじめ、企業における研究開発部門(多人数が関わった開発プロジェクト、製品開発など、応用研究を含む)の研究者などからの応募を対象とします。なお、JST からの賞状、賞牌に加え、芦田基金(※)の協力により、副賞 100 万円の提供をいただきます。

※ 芦田基金は、1994 年にデザイナーの故 芦田淳 氏が、青少年育成を目的として公益社団法人科学技術国際交流センター(JISTEC)に寄附し設立された基金です。

輝く女性研究者活躍推進賞(ジュン アシダ賞)では、大学、公的研究機関のみならず、企業、企業の研究所、教育機関、学協会、NPO 等、幅広い機関の取り組みからなる応募を歓迎いたします。JST から賞状、賞牌を授与します。

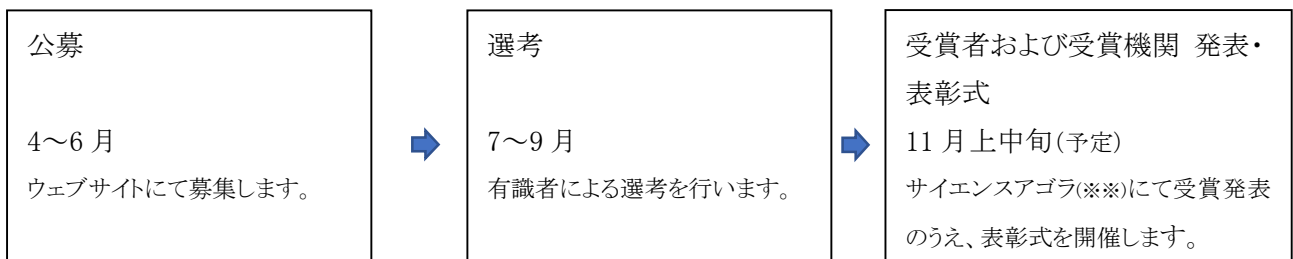
●主催、協力

主催 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)

協力 株式会社ジュン アシダ

公益社団法人科学技術国際交流センター(芦田基金運営団体)

●表彰までの流れ



※※サイエンスアゴラは、JSTが主催する科学と社会をつなぐオープンフォーラムです。

輝く女性研究者賞(ジュン アシダ賞)

1. 表彰対象

- ・ 原則 40 歳未満(ライフイベント等による研究活動休止期間を勘案)
- ・ 科学技術に関連していれば研究分野は不問

2. 応募

(1) 方法

応募フォームに入力し、ご応募ください。

【輝く女性研究者賞】(女性研究者) <https://form2.jst.go.jp/s/awmrs>

(2) 要件

- i) 自薦・他薦とも可能。他薦の場合、女性研究者本人の了承が必要。
- ii) 女性研究者は、原則として2023年4月1日現在で40歳未満の方を対象。ただし、ライフイベント等により研究を休止した期間がある場合は、応募フォーム該当欄にその理由と期間を記入すること。なお国籍は問いません。
- iii) 東京都内で行う、受賞発表および表彰式(11月上中旬・予定)への受賞者本人の出席を受賞の要件とします。

(3) 推奨事項

企業における開発プロジェクトをはじめとするエンジニアリング、製品開発、および多人数が関わった研究開発など、広い分野からの応募を歓迎いたします。上記に該当する場合において、責任者等からの推薦状や、特許などの実績評価に関する貢献度が分かる根拠資料の提出を推奨します。

詳しくは応募フォームをご覧ください。

(4) 応募期間

2023年4月3日(月)～6月30日(金) 日本時間正午まで

3. 表彰内容

1名、JST から賞状、賞牌を、副賞として芦田基金から賞金 100 万円を授与

※選考委員会において、本賞に相当すると評価できる応募者がいた場合、本賞のほかに科学技術振興機構理事長賞を授与することがあります。JST から賞状、賞牌を授与します。

4. 選考

(1) 選考方法

選考は、外部有識者からなる選考委員会により、選考の観点に基づき実施します。

(2) 選考の観点

以下の観点を踏まえて、総合的に判断します。

- ・ 研究の実績
- ・ 取り組んでいる研究について、独創性・チャレンジ姿勢、将来性や課題解決への貢献
- ・ 研究以外の社会貢献等(人材育成・環境整備など)
- ・ 国際的な視野(海外での経験や海外研究機関との連携など)

(3) 選考委員(敬称略、委員長を除き五十音順)

- ・ 鳥居 啓子(委員長) テキサス大学オースティン校 Johnson and Johnson Centennial 冠教授
- ・ 上田 修功 理化学研究所 革新知能統合研究センター 副センター長
- ・ 大草 芳江 特定非営利活動法人 natural science 理事
- ・ 大越 慎一 東京大学大学院 理学系研究科長・理学部長
- ・ 北川 宏 京都大学 副プロボスト 大学院理学研究科 教授
- ・ 小林 千晶 ハートフォードシャー大学 宇宙物理研究センター 教授
- ・ 所 千晴 早稲田大学理工学術院 創造理工学部 教授
- ・ 中村 志保 キオクシア株式会社 メモリ技術研究所 参事
- ・ 村山 斉 カリフォルニア大学バークレー校 MacAdams冠教授
- ・ 柳沢 正史 筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構(WPI-IIIIS) 機構長

(4) 利益相反

JST の規定に基づき、以下の利益相反マネジメントを実施します。

○選考に関わる者の利益相反マネジメントについて

公正で透明な評価を行う観点から、応募機関等に関して、下記に示す利害関係者は選考に加わりません。

- a. 応募者と親族関係にある者
- b-1. 応募者と大学、国立研究開発法人等の研究機関において同一の学科、専攻等又は同一の企業に所属している者
- c-1. 応募者と緊密な共同研究を行う者。(例えば、共同プロジェクトの遂行、共著研究論文の執筆、同一目的の研究メンバー、あるいは応募者の研究課題の中での共同研究者等をいい、応募者と実質的に同じ研究グループに属していると考えられる者)
- d. 応募者と密接な師弟関係あるいは直接的な雇用関係にある者
- e. その他JST が利害関係者と判断した者

5. 受賞者および受賞機関発表・表彰式、広報

(1) 発表、表彰式

開催日:2023年11月上中旬(予定)

会場:日本科学未来館(予定)

- ・ サイエンスアゴラにて当賞および輝く女性研究者賞活躍推進賞の受賞発表および表彰式を開催します。表彰式参加のための旅費等、詳細については追って受賞者にご連絡します。
- ・ 受賞者の紹介について、JSTダイバーシティ推進のホームページ等において、同日以降の掲載を予定しています。(参考URL: <https://www.jst.go.jp/diversity/>)。

(2) 広報等

受賞者に対し、表彰式におけるセッション等のほか、本表彰の広報活動、各種行事等へのご協力をお願いすることがあります。広報等における活動内容の公開については、関係者での事前協議を行います。

6. スケジュール

応募期間	4月3日～6月30日 日本時間正午まで
選考	7月～9月
発表・表彰式	11月上中旬(予定)

7. 個人情報の取扱いについて

応募に関連して提供された個人情報については、個人情報の保護に関する法律および関係法令を遵守し、下記各項目の目的のみに利用します。(ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます。)

- 選考および選考に関する事務連絡、通知等に利用します。事務局またはJSTと機密保持契約を締結した委託業者から連絡をさせていただくことがあります。
- 受賞者については、応募内容のうち、基本的な情報(女性研究者:氏名・所属・略歴・主な研究等、活躍推進機関:機関名・代表者名・取り組みとその状況等)を、公表させていただきます。また、表彰式等のご案内など必要な連絡用として利用します。
- JSTが開催するセミナー、シンポジウム等の案内等の連絡に利用します。案内が不要な方は応募フォームのJSTへの連絡事項欄にその旨ご記載ください。

本表彰に関わる業務委託においては、JSTと機密保持契約を締結しております。業務委託以外での第三者への情報提供や、許可なく開示することはいたしません。

応募に関連して提供された個人情報は、下記問い合わせ先(事務局)で管理します。

8. その他

- ・送信された応募内容・添付書類等は返却いたしませんのでご了承ください。
- ・選考過程および詳細に関するお問い合わせにはお答えしません。
- ・受賞にあたり反社会的勢力排除に関する誓約書を提出いただきます。

問い合わせ先(事務局)

国立研究開発法人科学技術振興機構

ダイバーシティ推進室 (担当:長田、伊藤)

E-mail: diversity[at]jst.go.jp([at]は@に置き換えてください)

以上